

## 天かけるは役に立ちます

平成 26 年 4 月  
おかはし内科医院  
岡橋 誠

天かけるネットを大変便利に利用させてもらっています。JA尾道総合病院と尾道市立市民病院の先生やスタッフの皆様と天かけるネットの運営にかかわっておられる方々には日頃から大変感謝しております。当院は、「天かける」の運用当初からJA尾道総合病院、その後に尾道市立市民病院との連携を初めて、約2年経過し、今では、日常的に使うようになりました。そこで、「天かける」を使うために日頃に行っている事、その使用感と2、3の工夫などをまとめてみましたので、ぜひご一読ください。

### 患者さんを天かけるネットに登録するタイミングは

- ・患者さんの診察や検査を病院に紹介予約するとき。
- ・ポリープや早期癌の内視鏡的切除後、癌の外科手術後、心筋梗塞や狭心症のPCI後などで、年に1、2回定期的にJA尾道総合病院や尾道市立市民病院に受診している人。また、脳卒中、大腿骨頸部骨折、IPMNの地域連携パスで定期的に病院に受診している方が、当院に受診されたとき。その時は、すぐには病院に受診する予定がなくても、連携室に同意書をFAXして登録しています。



を登録しましたが、最近では、新たに登録が必要な患者さんは週に1人あるかどうかです。登録に手間はかかりませんので、JA尾道総合病院や尾道市立市民病院にこれから新たに紹介する患者さんだけでなく、今まで、病院に受診されたことがある方については、天かけるネットのことを説明して、とにかく、登録をしています。たいていすぐに同意いただけますし、後日役に立つときがあります。今は、2つの病院への受診歴のある方全員の登録を目指して、何かのきっかけを見つけては、同意をもらうようにしています。ただし、登録患者が増えてくると登録したことをカルテの表紙にでも書いておかないと、登録済みかどうか、いつ登録したか、どの病院とリンクしたかがわからなくなりますので、登録が済んだことがわかるゴム印をつくり、カルテの表紙に目立つように押すようにしました。なお、最初はスムーズに同意が得られるかどうか心配していましたが、同意してもらえなかった方はこれまで1人だけでした。逆に、全部お任せするので、病院での診療情報を全部、持っておいて欲しいと過度に期待をされることがあります。

### ファイルを閲覧するときは

- ・アップロードされた内容を診察中、患者さんと一緒に見ながら、患者さんに病状を説明したり今後の見通しを話し合ったりするとき。
- ・紹介した患者さんの病院での診療情報をその日の診療の終わった夕方や翌日に天かけるに見に行くこともあります。
- ・紙で頂く情報提供書が病院から届いた時に、その補足になる情報、主に画像データがあるかどうかモニター画面で確かめたいとき。
- ・紹介患者さんのうち、入院した方で、入院中の画像と血液生化学検査内容や、注射、処方内容を確認したいときアップロードの内容だけでも、大体の様子が理解できます。ただ、それだけに、診療記録を覗き見しているようで気が引けますが、大変勉強になります。病院主治医の先生方にはいつも感謝しています。

・救急患者を診察していただいた後の様子を「天かける」のデータから確認できます。さすがにリアルタイムというわけには行きませんが、受診時間帯によっては、その日のうち、数時間後にある程度のことわかります。このことに関しては、以前この欄で、佐々木先生が書いておられましたが、看護師たちと一緒に閲覧することで、情報が共有でき、患者さんがまた、当院を受診された時の対応に役立たせてもらっています。

## よく閲覧するファイルは

閲覧するファイルはCTやMRIの画像、放射線科読影レポート、内視鏡写真、レントゲンの単純撮影写真、血液検査データ、外来での内服薬の処方内容、入院中の注射薬の処方などです。アップロード施設への要望ばかりで申しわけなく思っていますが、今後、より充実していただきたいファイルとしては、リンク上に公開可能な医師や看護師さんによる退院時サマリー、リハビリテーションの状況やNSTの行った栄養評価や指導内容のわかる記録などです。特に入院中の食事やリハビリテーションの指導内容がわかると在宅での介護サービス利用時にも役立ちます。

ファイルでデータが大きいものはダウンロードに時間がかかるのが難点です。特に画像、それも、高機能なCTやMRIはそうです。いざ、見ようと思ったときは間に合いません。診察室のパソコンが空いているときに診察に先立って開示用サーバーにダウンロードしておいた方が良いでしょう。

## 「天かける」を利用することによるプラスとマイナスについて考えてみますと

・目の前の患者さんについての今まで以上に多くの診療情報が、ほぼ無料で手に入ることはとにかく大いにプラスです。ただ、情報入手や情報の閲覧、蓄積された情報の整理や検索のために手間と時間が掛かるのはマイナス。より、使いやすく、手間の掛からないシステムになっていくことを願っています。

・「天かける」でデータを参照しながら診察することで、患者さんにより納得してもらい易い診察になり、患者さんにとってもプラス。病院での診療情報データを患者さんと一緒に見られるので、患者さんの大多数は、安心し、喜ばれます。中にはたいへん感激される方もおられます。しかし、診察に掛かる時間が今まで以上に長くなることは我々にとってはマイナスでしょうか。

・画像検査を説明するためには、こちらの知識が今まで以上に必要になり、それが勉強のきっかけになることはプラス。とはいうものの、こちらにその能力がないのと時間がとれなく負担になることはマイナス。放射線科の読影レポートや内視鏡所見、エコーの所見、血管造影、IVR等をされた先生のレポートが今以上にアップロードされることを希望しています。

・個人情報の漏洩やセキュリティーに気をつけなければいけないことはマイナス。ただ今までも我々は多くの個人情報を扱っていたので、基本は変わらないと思います。また、医療情報の大切さに多くの人の目が向くようになったことはプラスだと思います。

・「天かける」を閲覧することで、重複する検査項目や薬の処方を減らせることはプラス、しかし、出来高払いの現時点では我々の売上が減少するのでマイナス？。ただ、一般診療所の現在も収益のほとんどが指導料に頼っている当院では、あまり影響はないようです。また、将来診療報酬の「まるめ」化が進んだ場合は、「天かける」利用して、検査や投薬を最小限にして、質を保った診療が維持できる可能性があると思います。

今思いつくのはこれくらいですが、同じ事にプラスの面とマイナスの面があると気がつきました。患者さんにとってどうかを1番に考えて、プラスとマイナスのスコアを計算すると、大いにプラスになりますし、診療する側にとってもプラスになると思います。アップロードされたファイルを閲覧することで、色々なことがわかります。さらに、ID-Linkには電子カルテを使っていなくても、参照側から簡単なコメントを書き込む機能や写真などの画像をアップする機能があるそうですが、私は、まだ、今まで使ったことがありませんし、急ぐことや、最重要な内容のやりとりは、電話やFAXを利用しているのが現状であり、病院の診察医の先生にはご足労をかけて

います。もちろん、病院と当院の間での、診療情報のやり取りも、今のところ情報提供書などの紙が主体です。天かけるネットだけにこだわる必要はないと思いますので、「天かける」も大切なツールの一つと考えて、気軽に便利に利用させていただいています。

## 今後の予想や今後に望むことは

前回、伊藤先生が書いておられましたが、尾道では診療所の16%が、電子カルテを使っておられるようですし、以前、医療雑誌で見たのですが、全国的には開業医の4人に1人が電子カルテを使っているとのことでした。アップロードされた「天かける」のファイルを閲覧するために、電子カルテは必要ないですし、当院でも、今のところ、電子カルテに移行する予定がありませんが、今後は、診療所での電子カルテの普及率は着実に高くなると思います。これから、ネットで繋がる病院や診療所、調剤薬局、介護施設や在宅介護サービス提供事業所がもっと増え、さらに、健康保険組合や政府管掌の人間ドック、健康診断、特定健診の検査データがリンクされ、それぞれの情報が手間なく確実にアップロードでき、「天かける」に公開されるコンテンツがより充実すれば、利用価値はもっともっと上がります。その時は、それぞれの施設での重複検査や処方が減り、厚労省や政府の考えているように、医療費の上昇の抑制に繋がるかもしれません。ただ、医療を提供している者としては、検査や薬剤費による収入は減り、診察時間（患者さんへの説明に要する時間）は増えると思いますので、我々が利用を広げるためには、何らかの、診療報酬としての手当が必要だと思います。診療報酬改訂で今回新設された地域包括診療料算定の要件を満たすためには天かけるネットのようなICTを利用しないと無理と思いますが、厚労省はこれを念頭に入れているのでしょうか。とにかく、5年後には、「天かける」のように病院のサーバーと診療所のパソコンがネットに繋がり、お互いの診療情報が行き交う時代が来ると思いますので、今のうちに、少しずつでも、それに備えていくことは良いことだと思います。

繰り返しになりますが、ネットに参加されておられる先生は、JA尾道総合病院か尾道市立市民病院に受診したことがある患者さんを診察されたら、

患者さんに同意いただいて、とにかく患者登録しておいていただくことをお勧めします。当面病院の受診の予定がなくても、今まで病院に受診されたことがあれば、病院での患者IDがありますので、登録は可能です。情報の閲覧は将来必要になった時でいいと思います。また、まだ参加されていない先生は、診察室でインターネットにつながるパソコンがあれば、天かけるネットへの参加を考えてみてください。ほぼ無料でこれまで以上の診療情報が得られる機会を見逃す手はないと思います。

### 天かけると直接関係はありませんが、Rs\_baseについての話を少しだけ

Rs\_baseは広島市の山下郡司先生が開発作成されたファイリングソフトです。以前、この欄に書いておられた高橋先生を初め、尾道市内にも何人かの先生が使用されています。当院ではこのソフトで画像検査（レントゲン、内視鏡、超音波検査）、心電図、スパイロの結果を自動的にファイリングし、その他血糖、HbA1cの院内検査、外注の血液検査、身長、体重、血圧、他院からの診療情報書や介護施設からの情報提供書、ケアマネージャのたてたケアプランをスキャンしたPDF、診察室や往診・訪問診療、訪問看護先で撮影したデジタルカメラで撮影したJPEGなどを看護師がファイリングしてくれています。紹介状を書いたり、サマリーを書いたりする機能もあります。事務が打ち込むレセコンのORCAとオンラインで連動していますので、患者情報や診療日ごとの処方や点滴注射内容も自動的に取り込まれ、電子カルテのファイリング機能を特化したようなソフトです。ただし、電子カルテの要件（真正性、見読性、保存性）を満たしていないため、山下先生は電子カルテとしての使用は禁じておられます。当院でも、紙カルテを使用していますが、日頃診察室で使用するカルテはかなり薄くできました。メーリングリストに参加するだけで、利用できますので、かなり安価で使う事が出来ます。参考までに年間の利用料は約1万円（サポートの種類で16000円、21000円）ですので、是非一度、試しに使ってみてください。なお、Rs\_baseには画像データ、血液データ、処方内容を「天かける」にアップロードする機能があります。ただ、天かけるネットで使用している、VPNアダプターを院内のサーバーに取り付けると院内LAN上のパソコンどう

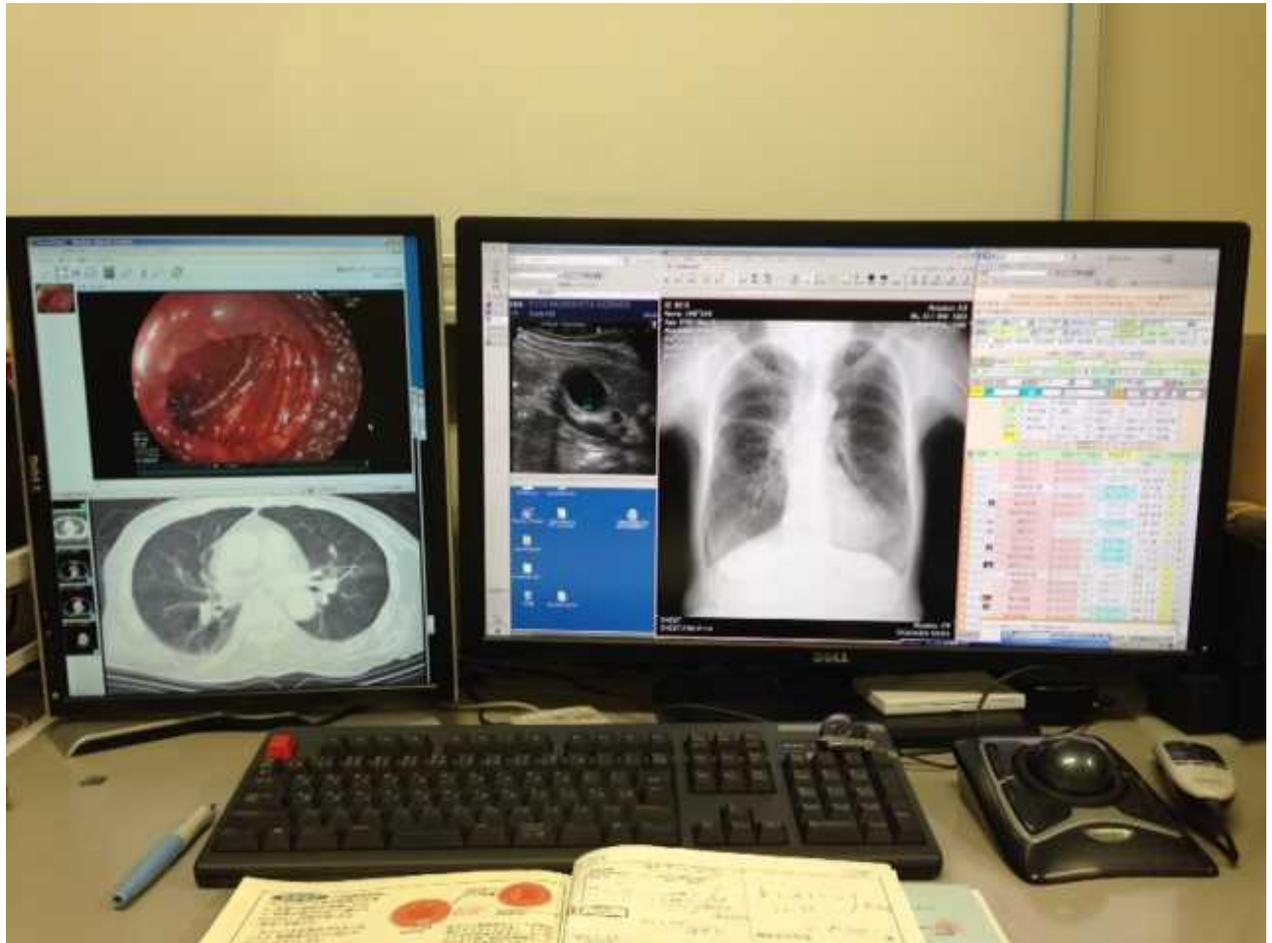
しがうまくつながらなくなるため、今のところ、当院ではデータをアップロードできていません。私の今後の課題の一つと思っています。

長くなってしまいましたが、おかはし内科医院で「天かける」を使っている現況を書いてみました。患者さんのために、「天かける」がもっと利用され、天かけるネットが、より発展していくことを願っております。



### 写真1の説明です

配布してもらった「天かける」の尾道帆布製のポスター、携帯ストラップ、その説明文を院内の目につくところに貼っております。



### 写真2の説明です

診察室のパソコン画面です。左側が、「天かける」で閲覧している画像です。右側が、Rs\_baseにファイリングした当院の画像検査と患者一覧を表示したものです。このほか、血液検査を外注している業者の提供してくれているソフトを使って、オンラインで入ってくる血液検査結果画面を使って、患者さんを診察しています。これらのツールと紙カルテを組み合わせることで、電子カルテは、当面必要なさそうです。